

北条高 同窓会だより

北条同窓会
立寄学校
愛媛県立北条高等学校
2026.2
発行 山本智紀
印刷 株式会社松栄印刷

ごあいさつ



同窓会長 山本智紀

の一步であると思われ、人育ての根幹は変わりませんが、地域に根ざし、自ら考え、他者を尊重しながら未来を切り拓く力—それは、北条高校が長年にわたり大切にしてきた精神であり、新しい校名のもとでも確実に

北条高等学校同窓会会員の皆さまには、日頃より本会の活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。皆さまにおかれましては、それぞれの地でご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

近年、私たちを取り巻く社会は、大きな転換期を迎えています。とりわけ地方においては、「地域に学び、地域で育ち、地域で生きる」ことの意味が、改めて問われる時代となり、いよいよこの春から北条高等学校は「北条清新高校」として歩みを進めることとなります。長い歴史を持つ校名に一区切りがつくことに、寂しさを覚える同窓生も少なくないと思います。しかし私は、この変化を「終わり」ではなく、北条高校が積み重ねてきた教育理念と地域との絆を、次代へと確かにつなぐ進化



「北条」の火を大切に

校長 菊池正敏

に受け継がれていくものと信じています。私自身、北条の地で学び、多くの仲間と出会い、今の生き方の礎を築いていただきました。現在は、北条高校唯一の地方議員のひとりとして、教育や地域づくりに関わる立場から、次世代が安心して学び、挑戦できる環境づくりに取り組んでいます。母校で培われた学びと誇りは、今も私の原動力であり、これからは地域と学校をつなぐ役割を果たしていきたいと考えています。同窓会は、世代や立場を越えて母校を想う心がつながる場です。北条清新高校へと続く新たな時代においても、同窓生一人ひとりの存在が、学校と地域の大きな支えとなります。本年度が、皆さまにとつて実り多き一年となりますことを心より祈念申し上げますとともに、今後とも同窓会活動への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日頃より、北条高校同窓会の皆様には、本校の教育活動に対し、格別の御理解と温かい御支援を賜り、心より感謝申し上げます。七月に開催

されました同窓会におきましては、昨年以上に多くの同窓生の方々にお集まりいただき、盛大に開催されましたことを大変嬉しく感じました。皆様から寄せられる変わらぬ励みやお力添えは、教職員はもとより、生徒一人一人にとつても大きな支えとなっており、学校運営を進める上での大きな原動力となっております。令和七年度は、北条高校として三

学年が揃う最後の年となりました。そのような節目の年にあつて、生徒たちは学年の枠を超えて絆を深めながら、学校行事や部活動、日々の学習に真摯に取り組んできました。素直で前向きな生徒が多く、学年を重ねるごとに責任感と自覚が育まれ、物事に粘り強く向き合う姿勢が随所に見られるようになりました。今後のさらなる飛躍を教職員一同、大いに期待しているところです。

さて、来年度の春には、新たに「北条清新高校」が開校いたします。北条高校同窓生の皆様におかれましては、令和九年度をもって北条高校が閉校となることに、深い寂しさや複雑な思いを抱いております。長い歴史の中で築き上げられてきた北条高校の伝統と文化、そして多くの卒業生を送り出してきた歩みに、深い敬意と誇りを抱いております。

北条清新高校は、これまで北条高校が育んできた教育の精神を確かな礎とし、その土台の上に、決して後退ではなく、未来に向けた新しい学校として引き継がれていくものです。形は変わりましたが、学校が人を育て、人と人、地域と未来をつなぐ場であることに変わりはありません。

どうか今後とも、皆様の故郷である北条高校の敷地に誕生する新しい学校を温かく見守り、折に触れお力添えを賜りますようお願い申し上げます。私たちは皆様と共に、この「北条」という火を大切に守り、生徒たち一人一人の挑戦と歩みを支えながら、次代へと確かにつないでまいります。

北条高生の活躍する姿は、北条高校公式ホームページで御覧になることができます。





四十五年ぶりの再会に思う

昭和五十五年度卒 大澤 浩治



北条高校同窓生の皆様におかれましては、益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今回は、卒業以来、四十五年ぶりの同窓会が行われたことで私自身の思いをつづらせてもらいます。

幹事をしていたため、受付にいたのですが、名札を付けている人の顔と名前が一致しない人が多くいて、少し不安になりました。でも、それも一瞬で消えてしまいました。

いざ始まると、一人一人、自己紹介がはじまり、その間、スライドに、卒業アルバムの顔写真が映し出されるという演出で、外見は、すっかり変わってしまっていますが、当時の面影や、話し方は、ほとんど変わってなく、当時に戻ってしまい、楽し

い時間を過ごすことができました。

私達の年齢になると、子育ても終わり、社会的にも、定年退職を迎え、肩書きを捨てて、一人の同級生として、あだ名や呼び捨てで呼び合える貴重な関係です。しかし、一方では、亡くなった恩師や友人の報告を知り、寂しさを感じ不安になる年齢でもあります。だからこそ、今回の同窓会で出会えた人達の縁を大切に

して、次にまた会えることを楽しみに、健康に気を付け、親の介護、孫の世話に頑張りたいと思います。

最後に、同窓生の皆様におかれましても、同窓会がある時は、ぜひ参加してください。北条高校での、三年間の思い出は、一生です。当時の皆様のことを知っている人と会うことは、今後の一生を生きていくために良い節目になると思います。



昭和55年度卒 同窓会

主な進路先 (内定状況)

(令和七年十二月二十五日現在)

〔進学〕

- 北九州市立大学 1名
- 松山大学 6名
- 聖カタリナ大学 2名
- 松山東雲女子大学 2名
- 大阪体育大学 1名
- 神戸国際大学 1名
- 京都芸術大学 1名
- 日本文理大学 1名
- 岡山商科大学 1名
- 大分県立芸術文化短期大学 1名
- 聖カタリナ大学短期大学部 2名
- 比治山大学短期大学部 1名
- 今治明德短期大学 1名

〔就職〕

- 株式会社三浦マニファクチャリング 3名
 - 株式会社ニトムズ 1名
 - 株式会社セブンスター 1名
 - 株式会社ムロオ 1名
 - 株式会社フジファミリーフーズ 1名
 - 株式会社ホテル椿館 1名
- 〔計〕
- 四年制大学 16名
 - 短期大学 5名
 - 専門学校 11名
 - 就職 15名

第76期 期別評議員より

笑いと学びの三年間

三年次一組 徳永 大智

僕は高校生活三年間をすべて全力で楽しみました。確かに全部が全部楽しかったかと言われるとそうではないかもしれませんが、一日一日が大切なもので友達と他愛もない話で笑うことや、放課後はしゃいだ日々すべてが大切な宝物であると同時に日々の支えとなるものでした。

体育大会や文化祭ではクラス全体で取り組み、絆を深めることができました。特に体育大会では応援団長を務め、グループ全員で盛り上げ、楽しみ、笑い合うことができました。

僕は楽しいときだけ楽しむのではなく、どんなことも楽しむという考え方をよくしています。やりたいことをやるのではなく、やれることを楽しむということが大事だと思います。学校にくると友達や先生みんな



体育大会

がいて、笑ってふざけて時には怒られて、そういったなにげない日常がとてつもなく楽しく大好きです。
北条高校ならではの経験や出会いは、他では得られないかけがえのないものでした。僕はそんな北条高校が大好きです。

仲間と歩んだ日々

三年次二組 田口 汐椰

私が高校生活で最も印象に残っているのは、仲間とともに目標に向かって努力した日々です。授業や部活動、学校行事などに取り組む中

で、思うようにいかないこともありましたが、一つ一つに真剣に向き合うことで、最後までやり抜く力や周囲と協力する大切さ、意見を伝え合い理解し合うことの重要性を学びました。就職試験に臨んだ際には不安を感じることもありましたが、高校生活で培った経験を振り返り、自分の考えを落ち着いて伝えることができ、努力を続けることの大切さを実感しました。

北条高校で過ごした三年間は、多くの学びや出会いにあふれ、私にとって今後の基礎を築くかけがえのない時間となり、この経験をこれからの人生や日々の生活にも生かしていきたいと思えます。

同窓会事業報告

(令和七年度)

① 同窓会役員会

令和七年五月二十二日(木)

北条高校会議室

山本智紀会長、渡部求副会長、

末田由紀夫副会長、河崎元副会長、吉金文男監事、芳之内秀幸監事、宮本吉人顧問、学校側六名の参加で役員会が開催されました。

令和六年度同窓会行事報告、令和六年度同窓会会計決算報告が行われ、同窓会総会が七月に開催されることになりました。

大石直美副会長が辞退され、後に門屋邦尚さんが推薦されました。

河崎副会長より、北条高校の閉校に向けた記念行事のための実行委員会の立ち上げについて、PTAだけでなく同窓会でも協力してはどうかと提案がありました。学校側からは生徒の思い出に残ることが、生徒主体で実行できれば良いとの意見がありました。
同窓会用のラインへの登録を積極的に進めてほしいとの意見がありました。

② 同窓会総会・懇親会

令和七年七月十九日(土)

松山モノリス

六十七名が参加し、役員会原案

が可決されました。その後に行われた懇親会では、同窓生同士の交流を深めました。



③ 同窓会だより第四十七号発行

令和八年二月二十七日(金)

④ 同窓会入会式

令和八年二月二十七日(金)

北条高校体育館

入会記念品として卒業証書ホルダーを贈呈

※ ホームページにも掲載しています。

主な諸活動の記録

- アーチェリー(男女)
 - 令和7年度愛媛県高等学校総合体育大会アーチェリー競技 男子個人 1位
 - 第10回四国高等学校アーチェリー選手権大会 男子個人 優勝
 - 2025年滋賀国スポ愛媛県予選会三次予選 少年男子 1位
 - 令和7年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技 男子個人 出場
 - 国民スポーツ大会 第46回四国プロック大会 少年男子 2位
 - 少年男子団体 2位
 - 第45回四国地区ターゲット・選手権大会 リカーブ男子 4位
 - 第47回国民スポーツ大会 わたSHIGA輝く国スポ大会 少年男子団体・個人 出場
 - 令和7年度愛媛県中学校高等学校アーチェリー選手権大会 男子70mラウンド 1位
 - 四国地区インドア・アーチェリー選手権大会 男子ベスト16 1位
- 弓道(男女)
 - 第44回愛媛県高等学校弓道選抜大会(全国高等学校弓道選抜大会県代表選考会) 出場
 - 令和7年度愛媛県高等学校新人大会弓道競技 出場

- 卓球
 - 2025年度愛媛県卓球選手権大会 男子シングルス ベスト32
 - 全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)県予選会 男子シングルス ベスト32
 - 令和7年度愛媛県高等学校卓球新人大会 男子団体・男女シングルス 出場
 - 男子シングルス ベスト32
- バドミントン(女)
 - 令和7年度愛媛県高等学校総合体育大会バドミントン競技 出場
 - 令和7年度愛媛県高等学校新人大会バドミントン競技 出場
- バレーボール(男)
 - 令和7年度愛媛県高等学校総合体育大会バレーボール競技 出場
- バレーボール(女)
 - 令和7年度愛媛県高等学校総合体育大会バレーボール競技中予地区予選 出場
- なぎなた
 - 令和7年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会 演技試合・団体試合 1位
 - 第45回四国高等学校なぎなた選手権大会 演技試合 2位・3位
 - 個人試合 3位
 - 個人試合 1位
 - 国民体育大会第46回四国プロック大会なぎなた競技・少年女子 1位
 - 団体試合 1位

- 令和7年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会 演技試合・個人試合 出場
- 第47回国民スポーツ大会 わたSHIGA輝く国スポ大会 出場
- 野球
 - 第107回全国高等学校野球選手権愛媛大会 出場
- ラグビー
 - 第73回四国高等学校ラグビーフットボール選手権大会愛媛県予選 3位
 - 第79回愛媛県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技 出場
 - 第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会愛媛県予選 出場
- レスリング
 - 第79回愛媛県総合体育大会レスリング競技 個人80kg級 2位
 - 個人92kg級 2位
 - 第22回四国高等学校総合体育大会レスリング競技 個人80kg級 出場
 - 個人92kg級 2位
 - 第79回国民スポーツ大会滋賀大会愛媛県予選会 個人80kg級 2位
 - 個人92kg級 1位
 - 第41回全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会 個人80kg級・個人92kg級 出場
 - 令和7年度愛媛県新人大会レスリング競技 個人92kg級 2位

- コーラス部
 - 第49回全国高等学校総合文化祭香川大会 合唱部門
 - 合唱専門部会長賞
 - 第92回NHK全国学校音楽コンクール愛媛県コンクール 銅賞
 - 第39回愛媛県高等学校総合文化祭合唱部門 特別賞
- 吹奏楽部
 - 第73回全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会 高等学校A部門 銀賞
 - 第26回定期演奏会
 - 第39回愛媛県高等学校総合文化祭吹奏楽部門 出場
- 書道部
 - 第39回愛媛県高等学校総合文化祭書道部門 出品
- 日本文化部
 - 第39回愛媛県高等学校総合文化祭華道部門 出品
- 文化スポーツ(ボクシング)
 - 令和7年度愛媛県高等学校総合体育大会ボクシング競技 男子ライトフライ級 2位
 - 第31回四国高等学校ボクシング選手権大会兼令和7年度全国高等学校総合体育大会四国地区予選会 Bパート男子ライトフライ級 1位
 - 令和7年度愛媛県高等学校ボクシング新人大会 男子フライ級 2位
- 福祉科
 - 令和7年度 生徒体験発表四国地区予備審査 佳作